

## 内灘海岸における魅力づくりを通じた地域環境改善に関する研究

指導教員：石川工業高等専門学校建築学科 准教授 村田一也

参加学生：神藪小春・前亜里沙・小崎晴菜・出村優尚・東真梨子・宮本俊紀・長路秀鷹

### 1. 調査研究成果要約

本調査研究は昨年度からの継続研究であり、内灘海岸の地域環境改善に取り組んできた。本年度の調査研究では①内灘海岸の現状調査、またこれに基づいた②海岸の利用に関するルール内容についての検討、および③海岸情報の整理・発信、以上3つの活動を、内灘町ならびに内灘海岸魅力づくり委員会<sup>1)</sup>（以下、委員会とする）と協同し行った。

本調査研究における研究成果は、①海岸に関するデータベースの構築、②海岸利用のルール素案の策定、③海岸情報に関するパンフレット（案）および看板（案）の作成である。

### 2. 調査研究の目的

本調査研究では、平成20年度に本事業において自然環境改善活動として「内灘海岸における風紋再生を通じた地域環境改善に関する研究」<sup>2)</sup>に取り組み、内灘町、海岸関係機関ならびに教育機関などの協力のもと、風紋再生のための竹垣設置活動への参加、その活動を改善するためのアンケート調査、また小学生を対象とした体験学習を行い、さらに内灘海岸全体の利用計画を行うために委員会を設立した。またこの委員会においてはワークショップを行い、委員会の活動指針を「安全で使いやすく美しい海岸を認知してもらうこと」として共通に認識し、以降委員会では「情報」をキーワードとして活動を行っていくこととなった。

ここで対象としている内灘海岸は、延長約9.6kmの長大な海岸であり、海水浴、マリッジジャー、乗馬やパラグライダーなどさまざまな利用されている。また内灘海岸においては、ゴミ問題、遊泳者とマリッジジャーとの接触事故などが深刻化しており、内灘町では海岸に関する条例の策定を急務としていることから<sup>3)</sup>、委員会では海岸に関する条例の素案となる海岸利用のルールづくりを推進していくことになった。

本調査研究では、「情報」を鍵語として内灘海岸の利用環境改善のためのルールづくりを、内灘町ならびに委員会と協同し行うことで、魅力づくりを通じた内灘海岸の地域環境改善を目的とする。これを実施するにあたり、まずは長大な海岸にたいしてエリア分けが有効であるかについて調査を行った。

本調査研究が行った活動の目的とその内容を以下に記す。

#### I. 内灘海岸における現状調査

内灘海岸またその周辺環境について(i)施設分布の調査、(ii)建物状況の調査、ならびに(iii)内灘海岸の利用状況の調査を行い、これらを情報としてまとめルールづくりの基礎となるデータベースを構築する。

#### II. 海岸の利用に関するルール内容についての検討

内灘海岸における利用環境改善のため、委員会におけるワークショップ等により、内灘海岸の利用に関するルールをつくる。

#### III. 海岸情報に関するパンフレット（案）および看板（案）の作成

上記活動により構築された情報やルールについて、整理し発信するための媒体として、パンフレットおよび看板を作成する。

### 3. 調査研究の内容

本調査研究における活動スケジュールについて、表 - 1 に示す。表 - 1 中の活動分類は、上記目的と一致する。なお、第四回委員会、第五回委員会については、1月中旬および2月上旬に開催予定となっているため、本報告書では内容の報告までとする。

#### 3. 1 エリアごとのアンケート調査

調査研究にあたり、約 9.6 km の海岸を対象とすることから、これをアクセス路を基に任意の 3 つのエリアに分けた。エリアの名称を仮に南側から内灘海水浴場エリア、内灘マリーナエリア、権現森・西荒屋海水浴場エリアとし、それぞれのエリアの有する魅力と印象についてアンケート調査を行った。本調査研究が設定した任意のエリアについて、図 - 1 に示す。

このアンケート調査により、エリアごとの魅力や印象にそれぞれ特徴が見られれば、これに基づきルールづくりを進めることが有効であるとした。

日付	活動分類	活動内容
4/14	*	「恋人の聖地」会議
4/15	*	内灘町との打合せ
4/22	*	「恋人の聖地」会議
6/5	**	内灘町との打合せ
6/20	**	第8回産学官連携推進会議
6/21	**	第8回産学官連携推進会議
6/30	I	第二回委員会 開催
7/26	I	エリア分けのアンケート調査
7/29	I	内灘町指定文化財 調査
8/6	I	内灘町との打合せ(イベント調査)
8/10	I	施設分布 調査
9/25	II	内灘町との打合せ
10/28	I	建物状況調査のためのフィールド調査
10/29	II	内灘町との打合せ(委員会内容 検討)
11/10	II	内灘町との打合せ(委員会内容 確認)
11/11	II	第三回委員会 開催 (WS1)
12/5	***	第五回 竹垣設置活動
1/8	II	内灘町との打合わせ(委員会内容 確認)
1月中旬	II	第四回委員会 開催予定 (WS2)
2月上旬	III	第五回委員会 開催予定

表 - 1 活動スケジュール

- \* : 海岸整備に関連して行った取り組み
- \*\* : 昨年度の調査研究に関する発表
- \*\*\* : 昨年度の継続として参加した竹垣設置活動

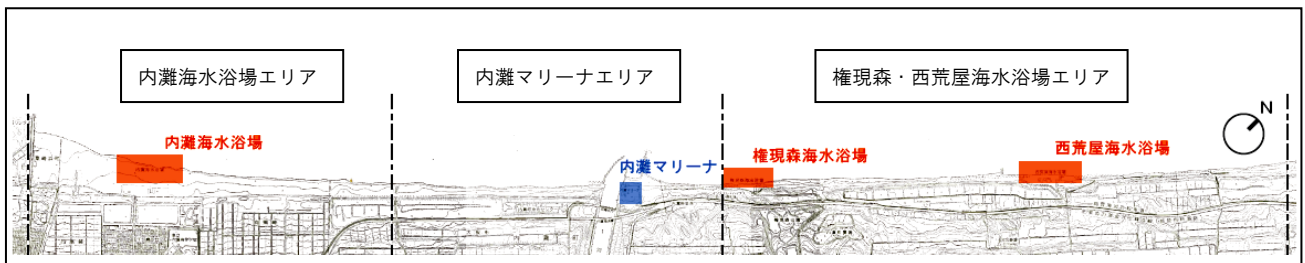


図 - 1 アンケート調査のために設定した 3 つのエリア

#### 3. 2 内灘海岸における現状調査

現状調査の調査範囲は、内灘海岸および海岸から約 500m 陸側にある、海岸線と並行に走る道路までとした。調査範囲の設定は内灘町との打ち合わせにより決定し、設定理由として内灘海岸を眺望することができる道路までとした。

##### (i) 調査範囲における施設分布の調査

内灘町地図およびゼンリン電子住宅地図デジタウン<sup>4)</sup>、ならびに内灘町史<sup>5)</sup>を用いて、調査範囲における施設分布の調査を行った。調査では、土地の状態(砂丘地、住宅地、畑地など)や諸施設分布、内灘町指定文化財などを調査し、地図上にマッピングすることでデータベースを作成した。

##### (ii) 調査範囲における建物状況の調査

上記(i)の施設分布の調査において明らかとならなかった建物の使用用途についてフィールド調査を行った。施設分布調査により作成されたデータベースを基に、調査範囲にある住宅以外の全建物について調査し、デジタルカメラを用いて写真データとして記録し、目視によりその用途を判別した。

(iii) 内灘海岸の利用状況の調査

内灘海岸利用者ならびに海岸関係者である委員会のメンバーにたいし、内灘海岸におけるさまざまな利用の現状と状況、また内灘海岸において開催されている各種イベントについてヒアリングにより調査した。

3. 3 海岸の利用に関するルール内容の検討

ルール内容について、委員会で内灘海岸の有する問題点を検討事項とし、それにたいする意見を先の調査範囲の中に自由に書き出してもらったワークショップ形式で行った。

検討事項については、昨年度本調査研究が委員会において行った共通認識形成のためのワークショップにより内灘海岸に関する問題として挙げられた「駐車場」ならびに「利用者の安全性確保」、「ゴミ問題」<sup>6)</sup>とした。ワークショップでは、これらの検討事項から、特に大きな問題となっている「駐車場（車両関係）に関する検討」と「規制事項に関する検討」の2つに分けて行った。1回目のワークショップは2009年11月11日の第三回委員会において、「駐車場（車両関係）に関する検討」のためのワークショップ（以下WS1とする）として行った。2回目のワークショップは2010年1月25日に第四回委員会において、「規制事項の検討」のためのワークショップ（以下、WS2とする）として行うことになっている。

ルール内容の検討のためのワークショップでは、ともに縮尺1/5000の白地図上に透明なOHPシートを重ね、参加者ひとりひとりにOHPシートへ検討事項に関する現状および検討すべき箇所を詳しく記入してもらい、その後全員のOHPシートを重ね合わせることから現状を見、意見の整理、検討を行った。WS1のようすを図-2に、WS1で提示された海岸利用図を図-3（内灘海水浴場周辺のみ）に示す。



図-2 WSのようす

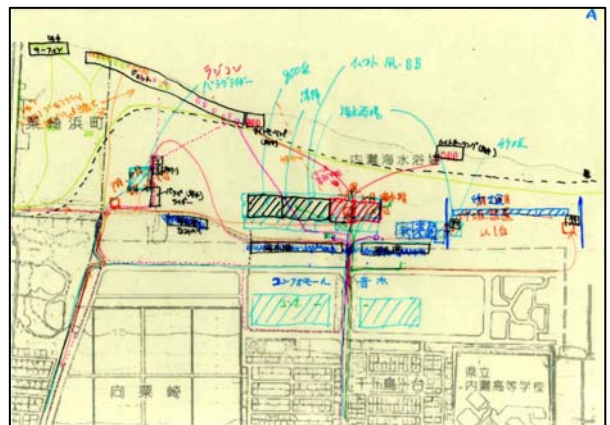


図-3 WS1により提示された海岸利用図

3. 4 内灘海岸に関するパンフレット（案）および看板（案）の作成

委員会において内灘海岸における問題を「情報（不足、未発信）」として共有したことについて、本調査研究では内灘海岸の利用に関するルールや、さまざまな魅力といった情報をまとめ発信する手段として、内灘海岸におけるパンフレットの作成を委員会において提案した。また、同様にそれらの情報について海岸で直接知ることができるように看板の設置が検討された。

パンフレットおよび看板の掲載情報は、本調査研究が調査し整理した「ルール」と「魅力」の2つの情報とした。具体的には、「ルール」として「内灘海岸における利用に関するルール」および「海岸利用に関する共通ルール」、「魅力」として「内灘海岸イベントカレンダー」「見どころマップ」「施設情報」とし、現在は図案作成を行っているが、中間報告現在では確認段階であるため、内容の報告のみとする。

#### 4. 調査研究の成果

##### 4.1 エリアごとのアンケート調査

アンケート調査は、2009年7月26日に内灘海岸利用者を対象として行った。

本調査研究が行った任意のエリアごとの魅力についての調査結果を表-2に示す。挙げられた魅力をエリアごとに整理すると、内灘海水浴場エリアでは、ビーチスポーツなど海、浜両方を利用する活動に関する意見が得られた。内灘マリーナエリアでは、マリレジャーなど海を利用する活動に関する意見、および夕日、眺望など景色に関する意見が得られた。権現森・西荒屋海水浴場エリアでは、地曳網、植物といった自然物、植生に関する意見が得られた。権現森・西荒屋海水浴場エリアにおいてのみ植物、植生などの自然環境に関する意見が得られたことなどから、エリアごとの魅力についてある程度の特徴があることが示された。調査により得られたエリアごとの魅力は、マリンスポーツ、地曳網などの「活動に関する魅力」と、夕陽、植生など「景観に関する魅力」に分けることができる。このようなエリアごとの活動情報や景観情報が明らかになることにより、そのエリアの目指すべき将来像が具体的に得られることになる。

続いて、エリアごとの印象についての調査結果を表-3に示す。調査の結果、内灘海水浴場エリアは

「きれい」「良い」といった意見が半数を占め、全体として良い印象であることが分かる。一方、内灘マリーナエリア、権現森・西荒屋海水浴場エリアの2つのエリアに関しては「あまり行かない」、「目立たない」という意見が得られ、これらのエリアはあまり認知されていないことが伺えた。

##### 4.2 内灘海岸における現状調査

###### (i) 調査範囲における施設分布の調査

調査の結果、内灘海岸およびその周辺における内灘町指定文化財は、天然記念物として「権現森ハマナス・イソスミレ群生地」、「シロチドリ・イカリモンハンミョウ」、史跡として「小濱神社跡」、「室青塚」の4つがあることが分かった。調査結果は土地の状態ごとに色分けし、地図上にマッピングし、データベースとした。作成したデータベースを図-4に示す。



図-4 施設分布に関するデータベース

内灘海水浴場 エリア	内灘マリーナ エリア	権現森・西荒屋 海水浴場エリア
散策	波乗り	地引網
波乗り	波乗り	地引網
釣り	水上バイク	権現森の植生
ビーチスポーツ	マリレジャー	権現森の植生
ビーチベースボール	釣り	植物の保全
花火	釣り	植物の保全
	夕日	
	夕日	
	朝日	
	眺望	

表-2 エリアごとの魅力調査の結果

内灘海水浴場 エリア	内灘マリーナ エリア	権現森・西荒屋 海水浴場エリア
きれい	きれい	浸蝕がひどい
きれい	きれい	浸蝕がひどい
きれい	きれい	浸蝕がひどい
きれい	きれい	浸蝕がひどい
きれい	マリレジャーのメッカ	きれい
きれい	マリレジャーのメッカ	きれい
きれい	マリレジャーのメッカ	きれい
良い	整備不足	あまり行かない
良い	整備不足	あまり行かない
広くなった	良い	広くて良い
広くなった	汚い	良い
広い	目立たない	素朴
広さを活かす	展望台の眺めが良い	植物が減った
広がって嬉しい		PR不足
きれいで広大		整備不足
小さくなった		浜茶屋
冬は汚い		墓
マナーが悪い		
にぎやか		
夕方が一番		
砂丘		

表-3 エリアごとの印象調査の結果

(ii) 調査範囲における建物状況の調査

調査範囲における建物状況の調査のためのフィールド調査は2009年10月28日に行った。調査範囲にある建物は354件、そのなかで住宅を除く178件の建物を調査対象とした。調査結果として、調査建物のうち、住宅が42件、商業施設が33件、公共施設が23件、文化財史跡などが2件、倉庫・物置が71件であった。調査結果は建物の用途別に色分けし、地図上にマッピングし、データベースとした。作成したデータベースの一部を図-5に示す。



図-5 フィールド調査の結果

(iii) 内灘海岸の利用状況の調査

内灘海岸におけるイベントについての調査結果を表-4に示す。調査は2009年から過去3年間で内灘海岸において行われたイベントについて調査し、毎年行われているイベントおよび2009年度より毎年行うことが決定しているイベントについて表に整理した。また調査したイベントについて、その内容により「自然保護」、「イベント」、「安全対策」、「会議」に分類したものを表中の「種類」に示す。

出来事		時期											
内容	種類	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
竹垣設置活動	自然保護												
北陶「陶芸の原点を探る・野焼き」	イベント												
小型船舶操縦者法遵守事項パトロール活動	安全対策												
コスモアースコンシャクサクト クリーンキャンペーン	自然保護												
内灘町海浜美化清掃	自然保護												
園児によるヒラメ放流体験	イベント												
内灘海水浴場連絡会	会議												
「子ども劇場いしかわ」子どもまつりin内灘	イベント												
JPKAジャパンツアー(カイトボード全国大会)	イベント												
内灘町長杯サーフィン大会	イベント												
内灘町世界風の祭典	イベント												
「金沢海上保安部」マリネジャー安全推進活動	安全対策												
「内灘夢教室」	イベント												
「ラジオかなざわ」UCHINADA BEACH FM放送開始	-												
「クリーンビーチ内灘作戦」ボランティア海浜清掃	自然保護												
サンタ・サマー クリーンビーチ&キャンプファイヤー	イベント												
ビーチベースボール北陸大会 in 内灘	イベント												
内灘海岸魅力づくり委員会	会議												

表-4 内灘海岸イベント一覧表

4.3 海岸の利用に関するルール内容の検討

2009年11月11日に、委員会において「駐車場(車両)に関する検討」としてWS1を行った。WS1により、海岸の利用および駐車状況の現状についてまとめデータベースとしたものの一部を図-6(内灘海水浴場周辺のみ)に示す。

WS1では、海岸の利用内容と駐車状況に関して、利用目的とその時の駐車状況が分かるように地図上に図示してもらうことで、現状把握を行った。その後、



図-6 WS1をまとめた海岸利用図

駐車場として整備すべき場所，駐車禁止とすべき場所，車両乗り入れ禁止とすべき場所について先の作業で作成した図をもとに検討した。また，駐車場として整備すべき場所ならびに駐車禁止とすべき場所は，委員会において検討した結果「特になし」とされ，車両乗り入れ禁止とすべき場所に関しては「風紋再生のための竹垣設置箇所」が候補として挙げられた。

WS 2 に関しては，WS 1 と同様の方法により内灘海岸における規制事項の検討を行う予定である。

## 5. 調査研究に基づく提言

委員会において海岸利用のルールづくりを進めるにあたり，内灘海岸に関するデータベースに基づいたエリア分けを行うことで，より効率良く現状に則したルールづくりを進めることが期待できる。この結果，本調査研究の提案のもと内灘町および委員会において海岸利用のルールの素案を検討し，具体的には海岸における駐車場に関する検討のためのワークショップを行った。現在車両乗り入れ禁止区域として指定されている「権現森ハマナス・イソスミレ群生地」の他に新たな車両の乗り入れ禁止区域として「風紋再生のための竹垣設置箇所」における車両乗り入れ禁止案の追加が決定した。これにより，内灘海岸における自然環境に配慮し，利用者にとって安全で有意義な海岸利用が促進できることが期待できる。また内灘海岸に関する情報をまとめた海岸パンフレットおよび看板を作成することで，収集・整理した情報やルールの発信・周知が行われ，内灘海岸において魅力づくりを通じた地域環境の改善が達成できる。

## 6. 調査研究の自己評価

本年度前半は，昨年度の調査研究にかかる発表報告，また内灘海岸の「恋人の聖地」<sup>7)</sup> 認定に係る打合せ等により，今年度の具体的な活動が遅れてしまった。しかし，調査により内灘海岸に関する土地の状態，内灘町指定文化財，イベント，施設に関するデータマップを作成することができた。また，海岸利用に関するルールをまとめたパンフレットおよび看板について，図案が確定した。

課題として，海岸利用のルール発信にあたり，その運営については今後十分に検討していく必要があると考えられる。

昨年度からの発展的継続として本年度の調査研究を行い，自然環境ならびに利用環境の両方を改善していくことで，内灘海岸の地域環境を改善することができた。

### 註

- 1) 内灘町および海岸関係機関・民間団体・住民等が一体となって協力し，内灘海岸の魅力向上を図り，地域振興に寄与することを目的に設立された任意団体。
- 2) 『平成 20 年度 地域課題研究ゼミナール成果報告書』 p. 67 参照。
- 3) 2009 年 2 月 11 日付「北國新聞」朝刊 より。
- 4) ゼンリン電子住宅地図デジタウン石川県金沢市・野々市町・内灘町，2009 年 1 月発行／株式会社ゼンリン。
- 5) 内灘町史編さん専門委員会：『内灘町史』，石川県内灘町発行，pp. 751「第四章 文化財」参照。
- 6) 内灘海岸魅力づくり委員会 h p 「第二回委員会概要」参照。  
<http://www.town.uchinada.ishikawa.jp/osirase/kaiganmiryoku/index.htm>
- 7) 特定非営利活動法人地域活性化支援センターが主催するプロジェクト，およびプロジェクトが 2006 年 4 月 19 日に選定・発表したデートスポット。自然に囲まれた場所，夜景の綺麗な場所，記念品が作られる場所などを選定している。  
<http://www.seichi.net/>「恋人の聖地」hp 参照。